

再 評 価 調 書

I 事業概要						
事業名	街路事業					
地区名	都市計画道路 <small>たかね</small> 高根線					
事業箇所	半田市 <small>しちほんぎちよう ひらちちよう</small> 七本木町～平地町					
事業のあらまし	<p>都市計画道路高根線は、半田市北部を縦断する都市計画道路 <small>おおぶほんだ</small> 大府半田線から半田市の市街地を経て、都市計画道路 <small>ふじえかめざき</small> 藤江亀崎線に至る地区幹線道路である。</p> <p>また、半田市都市計画マスタープランにおいて、市街地内の円滑な交通処理機能を担う道路に位置づけられている。</p> <p>当該事業区間は、JR 武豊線の <small>かめざき</small> 亀崎駅へのアクセス機能を担っているが、一部幅員が4m程度の1車線道路であり、円滑で安全な走行性が確保されていない。また、事業区間周辺には亀崎駅や <small>かめざき</small> 亀崎中学校が立地しており、通勤・通学の利用者が多いものの、歩道が未整備であり、歩行者や自転車等の安全が確保されていない。</p> <p>このため、「駅へのアクセス機能の強化」「歩行者・自転車の安全性向上」を主な目的として、本路線の現道拡幅を実施するものである。</p>					
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>① 地域の活性化（駅へのアクセス機能の強化）</p> <p>② 交通事故対策の推進（歩行者・自転車の安全性向上）</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>					
計画変更の推移		事前評価時 (2013年度)	再評価時(1回目) (2018年度)	再評価時(2回目) (2023年度)	変動要因の分析	
	事業期間	2014～2018	2014～2020	2014～2027	用地交渉の難航	
	事業費(億円)	6.1億円	9.4億円	9.8億円		
	経費内訳	工事費	1.5億円	2.0億円	2.0億円	—
		用地補償費	4.2億円	6.4億円	6.8億円	物件調査結果に基づく補償費の増(+0.4億円)
その他		0.4億円	1.0億円	1.0億円	—	
事業内容	現道拡幅整備 L=581m W=16m 2車線	現道拡幅整備 L=581m W=16m 2車線	現道拡幅整備 L=581m W=16m 2車線			
II 評価						
①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	<p>【事前評価時の状況】</p> <p>①駅へのアクセス機能の強化</p> <p>JR 武豊線の亀崎駅の乗降客数は2,245人(2013年)であり、駅への送迎等の需要がある。当該路線は駅へのアクセス機能を担っているが、一部幅員が4m程度の1車線道路であり、走行性が確保されていない。また、交通量は4,889台/日(2010年センサスペース)、旅行速度は22.3km/h(2010年センサスペース)となっている。</p> <p>②交通安全対策の強化</p> <p>亀崎中学校の通学路に指定されているが、歩道が未整備であり、歩行者や自転車等の安</p>				

	<p>全確保が求められている。</p> <p>【再評価時（1回目）の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JR 武豊線の亀崎駅の乗降客数は 2,573 人（2016 年）となっている。 ・ H27 センサスペースでは交通量は 4,828 台/日、旅行速度は 17.1km/h となっている。 <p>【再評価時（2回目）の状況】</p> <p>① 駅へのアクセス機能の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JR 武豊線の亀崎駅の乗降客数は 2,782 人（2019 年）となっている。 ・ R3 センサスでは交通量は 4,685 台/日、旅行速度は 19.3km/h となっている。 ・ 駅へのアクセス機能を担っているが、一部幅員が 4 m 程度の 1 車線道路であり、円滑で安全な走行性が確保されていないことから、事業の必要性は変わらない。 <p>② 歩行者・自転車の安全性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業区間周辺には亀崎駅や亀崎中学校が立地しており、通勤・通学の利用者が多いものの、歩道が未整備であり、歩行者や自転車等の安全確保が求められていることから、事業の必要性は変わらない。 <p>【変動要因の分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ H22 センサスと R3 センサスにおいて交通量は減少（204 台/日減少）しているが、コロナ禍による一時的な減少と推測される。一方、2019 年の亀崎駅の乗降客数は、2013 年から増加（約 24%増加）しており、事業着手時と同様に当該事業区間の整備が求められている。 																																																																																																																																																																	
判定	<p>B</p> <p>A： 事業着手時に比べ必要性が増大している。 B： 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。 C： 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。</p> <p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「駅へのアクセス機能の強化」、「歩行者・自転車の安全性向上」の観点から、事業の必要性は依然として高いため。 																																																																																																																																																																	
<p>1) 進捗状況</p> <p>② 事業の進捗状況及び見込み</p>	<p>【事業計画及び実績】</p> <table border="1" data-bbox="370 1220 1444 1444"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>2014</th> <th>2015</th> <th>2016</th> <th>2017</th> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>2027</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">工種区分</td> <td>調査・設計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">事業費(億円)</td> <td>前回計画</td> <td></td> <td>0.2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>9.2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>9.4</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td>0.2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3.3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3.5</td> </tr> <tr> <td>今回計画</td> <td></td> <td>0.2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3.3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>6.3</td> <td></td> <td></td> <td>9.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>【進捗率】</p> <table border="1" data-bbox="370 1489 1388 1803"> <thead> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗率</th> </tr> <tr> <th>計画</th> <th>実績</th> <th>達成率(%)</th> <th>計画</th> <th>達成率(%)</th> </tr> <tr> <th>【①】</th> <th>【②】</th> <th>【②÷①】</th> <th>【③】</th> <th>【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長(km)</td> <td>0.58</td> <td>0.00</td> <td>0%</td> <td>0.58</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>9.4</td> <td>3.5</td> <td>37%</td> <td>9.8</td> <td>36%</td> </tr> <tr> <td> 工事費</td> <td>2.0</td> <td>0.2</td> <td>10%</td> <td>2.0</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td> 用地補償費</td> <td>6.4</td> <td>2.7</td> <td>42%</td> <td>6.8</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> <td>60%</td> <td>1.0</td> <td>60%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※用地取得率（面積ベース）は約 60%</p> <p>【施工済みの内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 供用済み区間はなし。 <p>2) 未着手又は長期化の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業区間の一部は密集市街地であり、用地取得物件が多く、用地取得に時間を要したため。 			2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	合計	工種区分	調査・設計																用地補償																工事																事業費(億円)	前回計画		0.2				9.2									9.4	実績		0.2					3.3								3.5	今回計画		0.2					3.3					6.3			9.8		これまでの計画に対する達成状況			全体進捗率		計画	実績	達成率(%)	計画	達成率(%)	【①】	【②】	【②÷①】	【③】	【②÷③】	延長(km)	0.58	0.00	0%	0.58	0%	事業費(億円)	9.4	3.5	37%	9.8	36%	工事費	2.0	0.2	10%	2.0	10%	用地補償費	6.4	2.7	42%	6.8	40%	その他	1.0	0.6	60%	1.0	60%
		2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	合計																																																																																																																																																		
工種区分	調査・設計																																																																																																																																																																	
	用地補償																																																																																																																																																																	
	工事																																																																																																																																																																	
事業費(億円)	前回計画		0.2				9.2									9.4																																																																																																																																																		
	実績		0.2					3.3								3.5																																																																																																																																																		
	今回計画		0.2					3.3					6.3			9.8																																																																																																																																																		
	これまでの計画に対する達成状況			全体進捗率																																																																																																																																																														
	計画	実績	達成率(%)	計画	達成率(%)																																																																																																																																																													
	【①】	【②】	【②÷①】	【③】	【②÷③】																																																																																																																																																													
延長(km)	0.58	0.00	0%	0.58	0%																																																																																																																																																													
事業費(億円)	9.4	3.5	37%	9.8	36%																																																																																																																																																													
工事費	2.0	0.2	10%	2.0	10%																																																																																																																																																													
用地補償費	6.4	2.7	42%	6.8	40%																																																																																																																																																													
その他	1.0	0.6	60%	1.0	60%																																																																																																																																																													

3) 今後の事業進捗の見込み	<p>【阻害要因】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未買収用地については鋭意用地交渉を続けるが、一定の期間を要する。 <p>【今後の見込み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用地補償は面積ベースで約 60%の進捗状況となっている。地元特に目立った反対者もおらず、今後も引き続き用地取得を進めることにより、2027 年度に完了する見込みである。 	
判定	B	<p>A：これまで事業は順調であり、引き続き計画通り確実な完成が見込まれる。</p> <p>B：次のいずれか（該当する項目に「○印」を付ける）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ・これまで事業が長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ○これまで事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 <p>C：阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。</p>
<p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用地が取得できる見通しであり、2027 年度までに事業が完了する見込みである。 		
III 対応方針		
継続	<p>中止：上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。</p> <p>継続：上記以外のもの。</p>	
IV 事後評価実施の有無と主な評価内容		
<p>■対象（事業完了後5年目） □対象外</p> <p>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>—</p> <p>【主な評価内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通量（全車、大型車）、旅行速度、混雑度、安全性の改善状況（アンケート） 		